

3-4. 都市緑化・公園事業

3-4-1. 公園事業

① 服部緑地

年間 670 万人（府営公園全体の約 3 割に相当）を超える府民が訪れる服部緑地では、より快適に利用いただけるように、4 つの取組み（表-3.2）を進めています。

施設整備については、今年度は、トイレ、都市緑化植物園、広場などの改修工事を予定しています。

表-3.2 服部緑地 4 つの取組み

取組み	概要	今年度の主な取組み
1. 長寿命化	○開設後60年以上が経過して老朽化が進む公園施設の効率的・効果的な維持管理を推進 ・日常的な維持管理の着実な実践 ・予防保全を中心とした計画的な維持管理	・便所の改修 ・都市緑化植物園の改修 ・広場改修
2. パークライフ	○地域の多様な主体との連携の下、公園の利用促進を通じて、地域コミュニティや産業の活性化など地域課題の改善に貢献	・Learn⇒苔玉づくり等の講習会 ・Relax⇒ヨガ等健康づくりを支援 ・ハバママフェスタ等⇒地域の飲食店の活性化及びハバママを支援
3. みどり魅力化	○インフラ施設の再生として植栽を現在の周辺環境に対応しながら再整備 <植栽の主な課題> ・老朽化・巨木化、高密度化、生育不良、管理余力の低下	・公園樹木について、台風被害からみどりの回復 ・植栽景観、環境づくりの一環として、アジサイ園の充実
4. にぎわいづくり	○公園の魅力・快適性の向上に向け、民間活力の積極的な導入により、にぎわい施設（カフェ、フィットネス、スパなど）を誘致し、来園者に多様なサービスを提供	・指定管理制度の見直しを含めた民間事業者の公募に向けた準備 ・プール閑散期を活用した釣り堀事業の継続 ・野外音楽堂等にイベントを誘致



児童遊戯場
【長寿命化】



音楽で赤ちゃんと遊ぼう
【パークライフ】



円形花壇
【みどり魅力化】



レストハウス
【にぎわいづくり】

写真-3.32 服部緑地 取組みイメージ

陸上競技場では、「一般社団法人 F ツ 大阪スポーツクラブ」と連携して、今年度に芝生リニューアルが実現しました。また、新しくなった芝生は、FC 大阪にてメンテナンス頂いています。



写真-3.33 服部緑地 陸上競技場 芝生リニューアル（左：遠景、右：リニューアルイベント）

大規模な災害が発生した場合に、府民の命を守る広域避難場所や被災者の救助・救出等にあたる自衛隊等の拠点となる後方支援活動拠点としての機能を充実する取組みを進めています。

表-3.3 服部緑地 後方支援活動拠点としての機能を充実する取組み

取組み	今年度の主な取組み
防災公園施設整備 (後方支援活動拠点・広域避難場所)	<ul style="list-style-type: none"> 開設地区北側での既存竹林の保全 ⇒桃山台駅周辺へと繋がる避難路の形成に向けた取組み 既設園路等の老朽化対策
防災啓発	<ul style="list-style-type: none"> 防災イベントの実施 ⇒防災公園施設の紹介、防災意識の向上を図る取組み



図-3.16 防災公園施設整備イメージ（左：施設整備イメージ、右：整備予定箇所）

②箕面公園

明治の森箕面国定公園内に位置する箕面公園は、名勝「箕面山」として古くから滝と猿、溪流とモミジの名所として府民に親しまれ、年間約110万人が訪れる都市公園です。日本三大昆虫宝庫の一つと言われ、約3千種類の昆虫が確認されており、箕面の自然や昆虫を学べる昆虫館を併設しています。この昆虫館を活かし、新緑と紅葉の豊かな北摂・箕面の自然を手軽に体感できる公園づくりに向けて以下の7つの取組み（表-3.4）を進めています。

箕面川の渓谷沿いに位置するため、落石や倒木などによる被害が発生しないように、毎年調査を行い、優先順位を設定しながら計画的に対策を進めており、今年度は、落石対策などの工事を予定しています。

表-3.4 箕面公園 7つの取組み

取組み	今年度の主な取組み
1.海外からの来園者にも優しい公園づくり	看板等の多言語化検討、ホームページの多言語化
2.新緑と紅葉の美しい景観の維持・改善	モミジ再生プロジェクト(常緑化が進む森の改善)
3.地域の多様な主体との連携による集客力の向上	観光振興イベントへの協力
4.民間活力を活かした昆虫館の活性化	昆虫館の活性化
5.滝道や散策路等の主要園路の安全対策の充実	落石、危険木対策 箕面川沿いの柵の改修 台風被害からの回復
6.昆虫館を中心とした箕面公園の環境づくり	モミジ再生プロジェクト[再掲](昆虫が棲む豊かな森の再生)
7.昆虫館の教育施設としての役割の強化	昆虫教室出前講座 近隣類似施設との連携強化



紅葉の箕面大滝

落石対策工事

倒木対策工事

写真-3.34 箕面公園 取組みイメージ①

箕面公園の利用促進を図るため、箕面市等と連携しながら「箕面川床」を継続して行っています。また、箕面公園昆虫館の運営を指定管理に移行し、民間活力を導入した活性化を行っています。昆虫館の展示内容を大幅に刷新して、更なる活性化を推進します。



箕面川床



昆虫館のリニューアル



昆虫館の活性化イベント

写真-3.35 箕面公園 取組みイメージ②

3-4-2. みどりの風促進区域の重点緑化

平成 21 年 12 月策定の「みどりの大阪推進計画」にて、令和 7 年度までに、緑被率 20%（現況の 1.5 倍）を目標に掲げ、緑化を推進しています。

池田土木事務所管内では、国道 176 号、大阪中央環状線を「みどりの風促進区域」に指定し、平成 23 年度から平成 25 年度の 3 年間、公共用地の重点的な緑化と、民有地緑化への支援を行ってきました。

引き続き、大阪にみどりを増やし、海から山・山から海へと「みどりの風」を吹かすため、「みどりの太い軸」をつくろうとする取組み（みどりの風の道形成事業）を行っています。この事業では、企業や個人の方々からいただいた寄付金を原資に、地域住民や企業等が「みどりの風促進区域」内で行う緑化活動を助成しています。



写真-3.36 みどりの風促進区域の緑化例（上段：民間企業、下段：個人住宅）